

「知る、調べる、振り返る」を通して生徒が「好き」を見つけるまで、見守り寄り添う進路支援

北豊島中学校高校 (東京・私立)

テーマ ▶ キャリア教育

目的 ▶ 目にする仕事だけでなく幅広い仕事を知り職業観を広げる

課題
1年生から多くの仕事を知り、興味を広げることで、進路選択の幅を広げたい

「社会で活躍する女性の育成」を目指して大正末期に創設された北豊島中学校高校の特色は、1クラス25〜30人の少数制教育。「国際英語」「特進」「総合」の3コースがあり、少人数だからこそできる生徒の目標に合わせた学習と、キャリア教育に力を入れている。

「当校には、海外大学への進学希望者もいれば、自己肯定感が低く、自分の選択に自信がもてない生徒もいます。そうした生徒の個性に寄り添い、指導ではなく支援しながら、3年間かけて職業観を育てていくのが当校のキャリア教育です。教員の細やかなサポートはできています。教員の細法を探るのが難しい。そこで、私が現職に就いた2020年にリクルートの営業の方に相談し、ご提案いただいたのが、多くの仕事を読みやすく紹介されている『未来

事典DREAM』の活用です。今では生徒だけでなく、教員にとっても進路を知る参考書になっています」と進路指導部長の稲葉祐美先生。

活用
1年生『未来事典』、2年生『分野選び』。ワークシートに考えをまとめ、振り返る。

同校が1年生のキャリア教育に『未来事典』を導入したのは2021年から。

「それまでは、生徒に興味ある仕事を訊ねても、サービスマンがほとんどでした。それが『未来事典』を活用しただけで、興味と視野が一気に広がった。驚きました。付録のワークシートに興味ある仕事について調べたことを書き込み、考えをまとめられるのもいいですね」と1学年主任の久保田理恵先生。

こうしたワークシートは生徒各自の進路ファイルにストックされ、生徒が進路に迷ったときや面談のときに取り出し、教員と一緒に振り返り、進路を考えていくのが同校のスタイルだという。

「2年生では、これまでも『適性検査』と『分野研究ワークシート』を活用してきました。まだ進路が決まらない生徒は、1年生のときのワークシートを振り返り、もう一度自分のやりたいことを見直していく。進路が決まり分野研究に進んだ生徒は、納得いくまで調べ、オープンキャンパスの経験や先輩の話からさらに視野を広げていく。調べる力をつけることで、本当に好きなことが見つかります」と2学年主任の吉島雅人先生。

「F1が好きで工学部へ、コンクリートが好きで理工学部へ、自然界の仕組みから学ぶバイオミクシーに興味をもち、農学部に入学を決めた生徒もいます。その選択理由は、3年間のワークシートを振り返れば『なるほど』と納得できます。生徒の好きが見つかるまで待つ。それが大切です」と3学年主任の長谷誠先生。

「好きが見つければ生きていく力になる。高校3年間は土台づくりです」と稲葉先生。教員が一丸になってこそできる、個性を尊重した手厚い進路支援だ。

School Data

創立1926年 / 普通科(女子)
生徒数256人 進路状況(2022年3月実績) 大学52人、海外大学1人、短期大学1人、専門学校14人、就職4人(うち公務員2人)

左から
2学年主任
吉島雅人先生(理科)
1学年主任
久保田理恵先生(数学)
進路指導部長
稲葉祐美先生(国語)
3学年主任
長谷誠先生(数学)



リクルートサービスの活用法

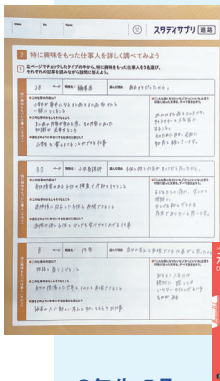
1年生 4月
保護者向けガイダンスで『高校生の保護者のためのキャリアガイダンス』を配付。

保護者の不安を解消し、高校生との受験意識の違いを理解いただくことにも役立っているという一冊。2020年から保護者に配付。



1年生 7月
『未来事典DREAM』&ワークシート

「好き」を入り口にして仕事に結びつけていけるので「読みやすい」と、教員にも人気の一冊。サービス業しか見えていなかった生徒も、興味を持った仕事を調べるワークシートには「編集者、小児看護師、作家」が記されている(来年度からはデジタル版)。



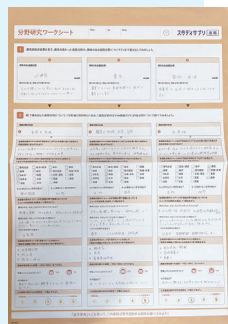
2年生 5月
スタディサプリ for SCHOOL (進学事典デジタル版) 『適性診断』



2年生 7月
「for SCHOOL」を活用してオープンキャンパスの予約を入れる

2年生 11月
『分野選びBOOK』* &ワークシート

「心理学、農学、家政・生活」の3分野に興味をもち調べていくうち、バイオミクシー(生物模倣)に取り組みたいと農学部に進学を決めた生徒のワークシート(*現在は「分野研究ワークブック」)。



取材・文 / 丸山佳子